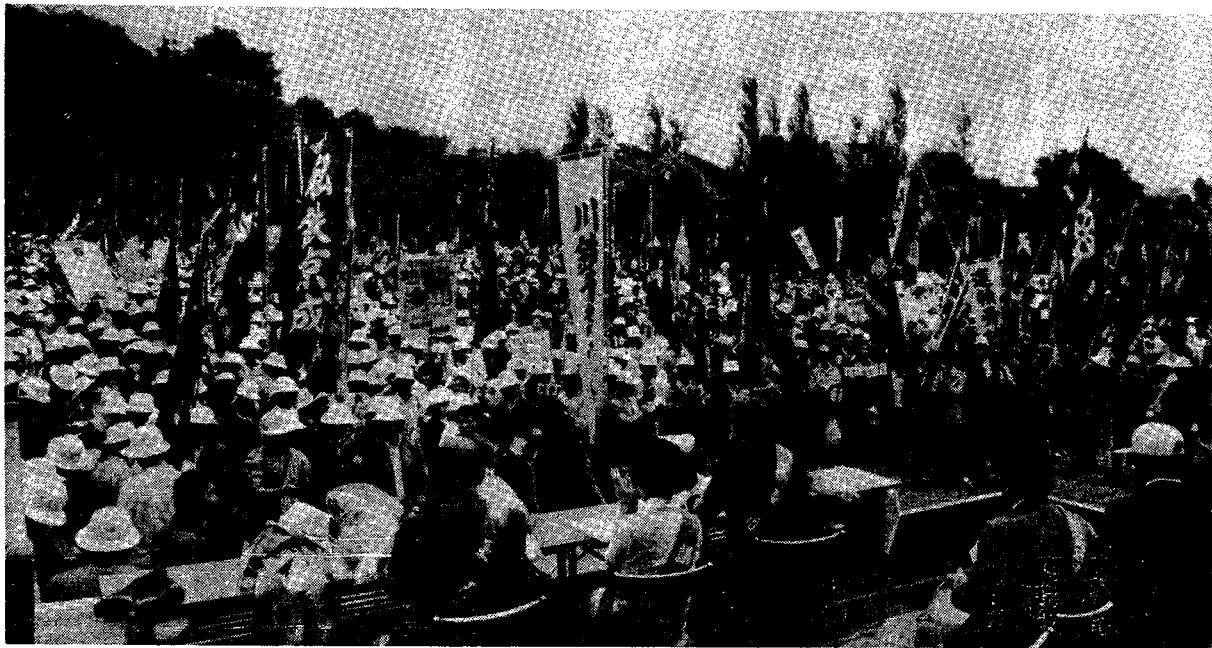


# オ53回メーデー 聞われる



# 日刊 勤労千葉

82.5.10

No. 1039

国鉄千葉動力車労働組合

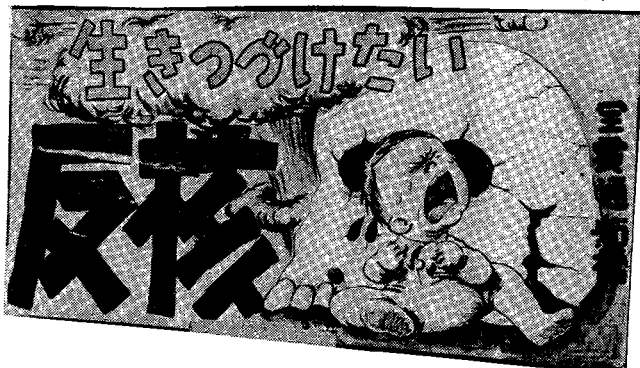
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五～六（公衆）四三三〇～七二〇七

**三里塚・反戦・反核・反合・反彈圧をかかげて、  
勤労千葉、6地区(中)で参加**

5月1日、オ53回メーデーが、県下各地で開かれました。勤労千葉は全支部から、千葉中央メーデー、夷隅地区メーデー、安房地区メーデー、成田地区メーデー、佐倉地区メーデー、銚子地区メーデーに、参加し、三里塚・反戦・反核・反合・反彈圧を訴え、合計二万枚にのぼる訴えのプラカートを配布し先頭で回りました。

## 県中央メーデーに一万三千名結集

5月1日10時より、千葉公園において開催された県中央メーデーには、前夜からの雨のぬかるみで動員者はほとんどになりながらも、それぞれスローガンをかかげた各団体、労働者が一万三千人結集し、盛大にまじなわれました。集会は、古出氏(全電通)の開会ありさつで始まり、議長団に系久氏(千教組)・永野氏(全通)・鈴木氏(全金)の3氏を選出し、始められました。ありさつにたった井原宛輔実行委員長から、「本日のメーデーは、全国で二五〇箇所、四〇〇万人の労働者が結集している。82春闘は、また中小未組総労働者は闘い続けている。今、日本の失業率数は、二七万人にものぼっている。一兆円減税を実現し、反核軍縮にむけて、5・23東京反核集会には、千葉から一核集会には、千葉から一



万五千人を集め、集会の成功にむけて頑張ろうとの決意がのべられました。

来賓、政党的代表から、それぞれありさつをうけたのち、メッセージ、祝電が披露され、大会宣言が拍手によって採択され、ガンバロー三唱の後、それぞれのコースにゆかれてデモ行進に移りました。勤労千葉は都川公園までのデモの最後先頭で、「三里塚・反戦・反核・反合・反彈圧」のシュプレヒコールと鉄輪旗をばいせながら回りました。

## 三里塚・反戦・反核 5・23、5・24集会に全力を

今年のメーデーは、メインスローガンの中にもあるように、政府支配者の露骨な軍事大国化攻撃激化のもとで、反戦・反核の決意を大きくよせたものでした。全世界は、経済的不況による戦争状況の中にあります。こうした中で、日帝鈴木内閣は、福祉予算切捨て、軍事予算の大巾増加に見られるように、憲法改悪を頂点とする全面的な反動化・再編をもって、労働者人民を戦争の道へまきこむつもりと伺っています。その



プラカード・コンクール入選作より (国鉄千葉・作品)

突破口をなすのが、三里塚軍事空港の強行な二期着工攻撃であり、また、国鉄労働運動解体攻撃、刑事弾圧デモ、上げの勤労千葉破壊攻撃等、同じ根の攻撃です。ゆいゆいは戦争への道を断固阻止するため、三里塚・反戦・反核の闘いを一層強化しなければなりません。

5・23東京反核集会には、日本の住民運動・反戦運動の不屈の中心柱である三里塚芝山連合空港反対同盟が集会実行委員会からの正式の招請をうけ、メイソン会場(代々木公園)で、全国の三里塚・反戦を闘う仲間を統結集しての「住民広場(仮)」の企画を持つ予定となりました。残る半月間に全力を尽くし、首都東京に三里塚勢力を中心として数十万の労働者の巨大なうねりをつくり上げていこうではありませんか。この力で三里塚二期工事阻止、オニ臨調・国鉄労働運動解体攻撃に反撃していかなければなりません。いま国鉄労働者にかげられた攻撃は、政府・自民党、マスコミ一体となった反動キャンペーンと、勤労本部草案の反動分子と権力が手を組んでのデモあげ、タレコミによる刑事弾圧、マル生攻撃、一斉での「働こう運動」という形で進行しています。これらの反動の壁を全組合員の創意工夫、団結力でうち破り、闘う労働運動再生にむけ奮闘していこう。